



コツメカワウソ

Winter  
2022

H I G A S H I Y A M A

# ひがしやま 63

名古屋市東山動植物園情報誌

# 非公開のニューフェイス

12月1日に福岡市動物園からツシヤママネコの「結(ゆい)」(メス)が繁殖を目的として来園しました。ツシヤママネコの飼育下繁殖については、平成26年に環境省と公益社団法人日本動物園水族館協会の間で締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づき、全9施設で取り組んでいます。繁殖目的のため、非公開エリアでの飼育となりますので皆様にご覧いただく機会がありませんが、良いご報告が出来るよう取り組んでいきますので温かく見守ってください。

(飼育第一係 内藤 仁美)



ツシヤママネコの結

## Contents

- |  |   |
|--|---|
| <b>00</b> 動物園トピックス<br>「非公開のニューフェイス」                          | <b>07</b> 植物園長のエッセイ<br>「オージープランツ」                         |
| <b>01</b> 動物園長のエッセイ<br>「観察を究めたメダカ博士の描く生命の神秘」                 | <b>08</b> 植物管理人だより<br>「キソウテンガイの開花報告」<br>「どんぐり広場のクリスマスツリー」 |
| <b>02</b> 飼育レポート<br>「カダヤシ目の魅力を伝えたい!」                         | <b>09</b> 東山植物園のレッドリスト植物Vol.23<br>「ミカワバイケイソウ」             |
| <b>04</b> 飼育だより  | <b>10</b> 植物園<br>「冬の花だより」                                 |
| <b>06</b> 動物病院日誌 Vol.62<br>「新年の干支 ウサギについて<br>～ネズミの仲間だったの!?～」 | <b>11</b> 植物園トピックス<br>「植物園花の見ごろカレンダー」                     |

表紙/コツメカワウン(*Aonyx cinereus*) 食肉目イタチ科

南アジア、東南アジア、中国南部、台湾に生息する。生息地の開発やペット目的での密猟、違法取引の影響で絶滅が心配され、野生での生息数は過去30年間で30%以上減少したとされる。2019年にワシントン条約附属書Iに掲載され、商業取引やペットとして一般の人が飼育することが規制されるようになった。(撮影/茶谷 公一・文/内藤 仁美)

## 東山動物園サポーター募集中!!

動物園サポーター制度は、動物たちが豊かで充実した生活を送ることができるように、飼育環境改善や動物福祉などを資金面からご支援いただくものです。

サポーターの区分と金額	個人	大人 3,000円以上 中学生以下 1,000円以上	サポーターの方に動物や東山動物園をもっと知っていただくために…	① 動植物園情報誌「ひがしやま」をお送りします。(4回) ② サポーターの方を対象にサポーター限定イベントを開催します。
	法人・団体	10,000円以上		

個人10,000円以上、法人・団体50,000円以上で支援いただいたサポーターは、氏名、法人・団体名を園内に掲示することができます。

### 申込方法

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>①</b> 動物園内で手続きをしていただく場合 | 動物会館図書室で申込書を記入の上、寄付金をお支払いください。   |
| <b>②</b> 郵便振込で手続きをしていただく場合 | 振込用紙をお送りしますので、動物園サポーター事務局までご連絡ください。<br>サポーター事務局 / 公益財団法人東山公園協会 動物会館 TEL052-782-2111(内線340) |

東山動植物園のオンリーワンと言えば「世界のメダカ館」(以下メダカ館)ですね。メダカ館は、正門近くにあった既設水族館の老朽化に伴い、メダカの仲間をテーマとした新しい水族館として平成5年(1993年)10月にオープンしました。当時、ニホンメダカは野生下における生息数の減少が話題になり始めた時期でしたが、その6年後の平成11年(1999年)には環境庁(現環境省)によって絶滅危惧種に指定されることとなり、メダカ館は種の保存や環境教育に相応しい施設として大きな注目を集めました。

環境教育では、愛知教育大学名誉教授で「メダカ学全書」の著者としても知られる「メダカ博士」こと岩松鷹司先生にご指導をいただいております。園内で開催する動物講座の講師や、子どもたちが育てて繁殖させた名古屋由来のメダカを田んぼに見立てた大水槽に放流する「メダカ里親プロジェクト」にもご支援をいただいています。この度、館内におきまして「観察を究めたメダカ博士の描く生命の神秘」と称した岩松先生の展示コーナーを開設しました。メダカの研究が日本人によって発展を遂げた歴史をご紹介しますとともに、岩松先生のご業績についても展示しています。特に緻密な観察によって描かれたメダカの発生図は世界の研究者から絶賛されており、学術論文や生物教材に多く引用されています。皆さんもどこかでご覧になっているかもしれません。今回は特別に手書きスケッチ原画(原寸大レプリカ)を陳列して必見ものです。なお、岩松先生は現在もご自宅で研究活動を続けておられます。

メダカ館は、メダカの仲間の展示に加えて、イタセンバラなどの希少淡水魚の保全、共同研究でインドネシアのスラウェシ島への調査など展示・活動の幅を広げています。ニホンメダカは地域によって遺伝的な差が大きいとしてミナメダカとキタノメダカに分類名が変更されていますが、希少な日本固有種に違いはありません。小さなメダカは生息地域を自分で変えられません。その環境からいなくなることは、地域古来の自然が破壊されていることを示します。SDGsのゴール14・15はそれぞれ海・陸の豊かさを守ることです。メダカ館で同じ自然環境に生きる小さなメダカをご覧いただき、外来種の侵入やプラスチックごみによる汚染防止など野生動物を未来につなぐために、私たちができることを考えるきっかけとしていただけましたら幸いです。

(動物園長 黒邊 雅実)





# もく カダヤシ目の

## みりよく 魅力を伝えたい!

### 1 カダヤシ目の魚

世界のメダカ館最奥の展示室では、かつてはメダカと同じメダカ目のなかまであったカダヤシ目の魚を数多く展示しています。

カダヤシ目の魚たちは、その美しい体色からペットの熱帯魚として人気の高い種類も多いのですが、その生態、特に繁殖方法が様々であることも魅力の一つです。今回は、その一部を紹介します。

### 2 休眠卵

雨季と乾季のある地域に生息するノブランキウス科の魚たちは、乾季には生息できる環境がなくなるため死んでしまいます。そんな彼らは次の雨季に次世代を残すため、卵が乾燥に耐え、数か月後に雨が降った時に一斉に孵化するようになっています。

飼育下では、ピートモス(植物の茎や根などが腐植し土のようになったもの)に産み落とされた卵を産床ごと乾燥させ、2~3か月置いて乾季を再現し、孵化させる際には水の入った瓶に入れ激しく振ることによって、降雨を模しています。一年で寿命を終えるため成長のスピードも速いのですが、オスとメスがなかなか均等に生まれませんが担当飼育員の悩みです。



メスが産んだ卵を乾燥させ休眠期間へ

### 3 卵胎生の魚

展示室の中でも大きな群れでにぎやかに泳ぐ魚たちは卵胎生のなかまです。彼らは、主にアメリカ大陸に生息するポエキリア科に属し、メスが卵ではなく赤ちゃんを産むことが特徴です。自ら動くことのできない卵と比べ、この稚魚たちは生まれた直後から食欲旺盛でよく育ち殖えやすいのですが、限られた大きさの水槽内では、稚魚が食欲の盛んな親たちに食べられやすいことが問題です。水草や藻類を多く配置し、水底や水面近くで泳いでいても見つかりにくいようにしています。

ちなみに、日本に持ち込まれ、特定外来生物に指定されたカダヤシ(学名:ガンブシア アフィニス)もこの卵胎生魚です。日本の淡水域には存在しない繁殖方法なので、より強い繁殖力を持ち、メダカなどの生息地の生態系を脅かす存在になってしまいました。



卵胎生のポエキリア ウインゲイ

## 4 メスしかない魚!?

前に紹介した卵胎生魚の中には、とりわけ変わったアマゾンモーリー(学名のポエキリア フォルモーサの名で展示しています)という魚がいます。この種にはメスしか存在せず、他の近縁種きんえんしゅのオスの精子しげきの刺激によって母魚と全く同じ遺伝子を持つクローンいっしょが生まれてくるのです。このため世界のメダカ館の水槽では、よく似たポエキリア メイランディのオスをこの父親役として一緒に飼育しています。

(日本のギンブナも同様に、クローンの子孫を殖やしています。)



メスのみの魚 ポエキリア フォルモーサ

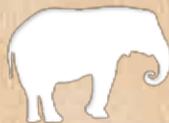
## 5 魅力を伝えるために

カダヤシ目の魚たちの展示エリアでは、こういった多様性を感じていただくために多種の魚を飼育していますが、その種類の多さから限られた大きさの水槽の中で飼育する必要があります。そのため、なわばり争いをしたり、本来の群れより少ない数のため落ち着いて過ごせなかったりする恐れがあります。この問題を解消するため、砂利おおを覆うように広がるものや、流木や岩に活着するものなど、さまざまな大きさの水草を植えて各個体が隠れる場所が多くなるようにレイアウトしています。落ち着いて過ごすことができると、彼らの色鮮やかな体色もはっきりとするようになります。また、LEDライトうながの設置により水草の育成を促すと同時に、彼らの体色もご覧になりやすくなりました。

今後も、魚たちが過ごしやすく、バリエーションに富んだ彼らの特長・魅力も皆さんにお伝えできるような環境を整えていきたいと思ひます。



(飼育第二係3班 澤田 直美)



飼

育

## にぎやかに なってきました

コアラ舎では11月末現在11頭のコアラを飼育していますが、10頭のコアラをご覧いただけます。そのうち3頭は3~4月に生まれて、9~10月あたりにお母さんの袋から顔を出した赤ちゃんコアラです。今の時点で、袋からすっきり出て背中に乗っていることが多くなってきました。時々、お母さんの元を離れて冒険しだす姿も見られています。3頭の赤ちゃんが同居しているのは東山動植物園では初めての事なので、こども同士のコミュニケーションがどんな風



背中に乗っているななみのこども(名前はまだない)なのか、同居スペースがどれだけにぎやかになるのか不安も少しありますが、とっても楽しみにしています。親仔が入れ替わってしまうことも3頭もいると頻繁になるかもしれませんね。

性格も年齢も様々でバリエーションに富んだ



過去にあった親仔入れ替わりの光景(ホリーの背にのる、りんの仔つくし)

メンバーがそろった、多様にぎやかなコアラ舎を見に来てくださいね。

飼育第一係1班 山田 知香

## 元気にしています

今年も高病原性鳥インフルエンザ感染症の国内報告がなされ、10月にはすでにレベル3(国内複数箇所発生)となり、当園も対策を始めました。各鳥類舎周りにお客様との一定の距離を保つためにカラーコーンとバーを設置したり、定期的な消毒を行ったりしています。私たち飼育員は、鳥類舎へは専用長靴で踏み込み消毒槽を通して出入りし、普段以上に注意をして飼育作業を行なっています。



シジュウカラガン



クジャク



閉鎖中のバードホール

そんな中でも鳥達は元気に暮らしています。閉鎖されたバードホールの鳥たちは(お客様がたくさんいるのに、来ないかな?)なんて思っているかいないかは分かりませんが、普段通りに生活をしています。大型インコ類も相変わらずの大きな声で鳴いており、この声はコアラ舎付近でも聞こえていると思います。古代池にいたシ

ジュウカラガンも隔離飼育していますが、こちらも元気にしています。

来春以降と少し長い期間になりますが、再び皆様にご覧いただける日を心待ちにしています。

飼育第一係2班 木村 勝

## ナツ! お誕生日おめでとう

アカカンガルーのメスのナツは10月10日に11歳になりました。私はカンガルーを担当して3年半になりますが、群れの中で一番のご長寿です。3頭いるメスの中で一番大きく食欲旺盛です。性格はとても穏やかで、日中はゆっくり休んだり寝て過ごすのが日課です。

オーストラリアの乾燥した地域に生息するため、アカカンガルーたちは水に濡れることが嫌いです。このため雨が降ってく



ると、掃除の途中でもお構いなくずかずかと屋根のある寢室に戻ってきてしまうのですが、そんな中、ナツだけは放飼場のテントの下で1頭たたくみ、その姿はなんとまあ哀愁が漂って見えます。テント下で早く雨が止んでほしいと祈っているかのよう



です。まだまだ元気なナツ、12歳を目標に健康な日々を送ってもらえるよう飼育に取り組みます。

飼育第一係3班 猿渡 一

## オランウータンの ジャラン・ジャラン デッキ始めました!

コロナ対策で2年半前から中止していたジャラン・ジャランデッキでのオランウータンのおやつタイムを再開しました!

普段は遠くで段ボールをかぶっていたりして、何をしているか分かりづらいオランウータンたちですが、ジャラン・ジャランデッキでのおやつタイムでは、みかんを食べて残した皮を返してくれる様子や、殻付ピーナッツの薄皮まで口で器用に剥いている様子、姉



のネオが口と手を器用に使ってペットボトルのふたを開ける様子、妹のアキが苦手なピーマンを返す様子など様々なオランウータンの姿をじっくりご覧いただけます。そして何よりオランウータンたちとのゆる〜い時間を来園者の皆さんとも共有できるので担当者の私は楽しいです。



オランウータンたちの都合や天気によって開催時間が変わるので、出会えたらラッキーなオランウータンたちとのゆっくりおやつタイム、動物園におこしの際はぜひオランウータン舎を覗いてみてくださいね。

飼育第二係1班 武田 梓

## ゾウガメの魅力

「気づいたら1時間くらいゾウガメを眺めていたんです!」

あるお客様のこんな言葉に、私はとてもうれしくなりました。ゾウガメといえば、のんびりと寝ているイメージが強いかもしれませんが、ずっと見ても飽きないような魅力がたくさんあります。

まず、意外と動きます(笑)。のしのし歩いてきて餌をもらいに来たり、展示場内の石の上を登ってみたい、思い思いの場所で気ままに過ごしています。ただ、何をすることもゆっくりなところ



が癒しポイントです(笑)。

また、4頭それぞれ性格が違います。展示場内で作業をしていると「何してるの?」と言わんばかりに近づいてきて見に来る、好奇心旺盛なゾウガメもいれば、驚くとすぐに首を引っ込めてしまう、少し臆病なゾウガメもいます。体の近くをほろほろとすると、掃きやすいように立ち上



がってくれるゾウガメもいるんです。

ゾウガメたちを見ていると、時間がゆっくり過ぎる気がしますし、こんなのんびりした世界があるんだなと感じていただけると思います。ぜひゾウガメたちに会いに来てください!

飼育第二係2班 川島 ひかり

## いろんな尻尾

皆さんは、ふれあい広場にいる動物たちの尻尾をよく見たことがあるでしょうか? ウシやウマ、アルパカにヤギ…それぞれ見た目や長さは全く違いますが、実は似たような役割を持っています。例えば、ウシやウマの長い尻尾はサシバエやアブなど害虫を追い払うために鞭のように振っている姿をよく見かけます。また、走るときなどもバランスを取るのに使ったりします。ヤギやアルパカなどの比較的短めの尻尾をもつ動

物たちも虫を追い払うのに使ったりすることはあるのですが、世話をしている時に一番よく見かける使い方は、感情表現です。ヤギは嬉しかったり甘えてきたりする時に、イヌと同じように尻尾を振りながら近づいてくれる時があり可愛らしいです。アルパカも、緊張している時や興奮した時は尻尾を丸めたりピンと立てたりします。尻尾というのは普段あまり注目することの無い部分ですが、動物たちは様々な使い方をしているので、ふれあい広場に



来た際にはぜひ動物たちの尻尾も観察してみてください。

ふれあい広場 安藤 菜々子

# 新年の干支 ウサギについて

## ～ネズミの仲間だったの!?!～

今年も残すところあと少しのこの時期に毎年思うに「一年は早いなあ」という気持ちです。やり残したこと、やってあげれば良かったことなど、人それぞれにあるでしょうが、“年が明ければ、新しい一年がある”、そんな風に関き直って、気持ちを新たにしたいものです。

さて、2023年はウサギ年。この原稿を作成している時点では、残念ながら東山にはウサギの仲間はいません。近い将来、あらためて飼育することを見込んで、干支にちなんで、ウサギのことを少しお話ししましょう。

ウサギの仲間は、物をかじる切歯(門歯)の形状と草食性のため、最初のうちは、げっ歯目の中の亜目として、ネズミの仲間の一つとして分類されていました。(ウサギもネズミも切歯は一生伸び続ける常生歯です。)

研究を進めていくと、げっ歯目とは分離すべき、はっきりとした特徴が見いだされ、新たにウサギ目として分けられました。その特徴はどのようなものかという、ウサギ類の上顎には伸び続ける長い切歯(門歯)の裏に小型のくさび状の切歯があります(写真・図参照)。

ウサギの仲間は、ほぼ全世界に分布しています。ウサギ目はウサギ科とナキウサギ科に分かれ、ウサギ科は大きく二つのグループに分かれます。一つはノウサギのグループで、もう一つはアナウサギのグループです。皆さんがペットショップで見かけるカイウサギ(家畜)はアナウサギの仲間です。この二つのグループの特徴は、アナウサギ類は地中に穴を掘る生活、ノウサギ類はすぐれた走力を持つ方向へ特殊化しました。

ウサギ目の動物の特徴には、切歯のほかに、消化器系にも特徴があります。それは、“二重消化”と呼べるもので、2種類の糞をすることです。ウサギは大腸と小腸の間にある盲腸が発達しており、ここで発酵分解された内容物は黒っぽい軟らかな糞(盲腸便(食))として排泄されます。こ

の糞は高タンパク質で、ウサギは直接自分の肛門に口を付けて食べます。もう一つの糞は、硬いもので繊維が粗く盲腸へ送られずに形成された糞でふつうに排泄されます。(図参照)

ウサギについての話題は、まだまだいろいろあると思います。(十五夜の「うさぎの餅つき」もその一つ!?) 新しい年、ノウサギのすぐれた脚力に見習って、飛躍した一年にしましょう。



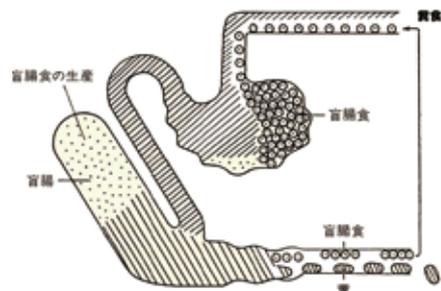
▲東山動物園で飼育していたメキシコウサギ



▲メキシコウサギの頭骨(左)と上顎切歯(右)



▲アナウサギの上顎切歯の図  
(引用図書「歯の比較解剖学」  
医歯薬出版)



▲アナウサギの糞食メカニズム  
(引用図書「哺乳類の生物学2 形態」東京大学出版会)

(指導衛生係 中村 彰)

【動物取扱業登録】

名称:名古屋市、事業所の名称:名古屋市東山総合公園、事業所の所在地:名古屋市千種区東山元町3-70、動物取扱業の種類:展示、登録番号:第0701027号、登録年月日:2007年6月1日、登録の有効期間の末日:2027年5月31日、動物取扱責任者:黒邊 雅実

# オージープランツ

オージープランツとはオーストラリア原産の植物のことで、近年ガーデニング素材として人気が高まっています。オーストラリア大陸は、熱帯性、亜熱帯性、砂漠性から温帯性まで様々な気候帯を有し、また他の大陸からはな離れているため、独特な進化をとげた個性的な植物が非常に多く分布しています。日本の屋外でも育つものも多く、当園にもバラ園展望台の奥にオーストラリア産の植物を集めたコーナーがあります。今回はこのユニークな植物たちを紹介していきたいと思います。

【バンクシア】バンクシア(Banksia)は、ヤマモガシ科の植物です。匍匐性の低木から高木にいたるまで様々な種があります。花の形状は個性的で、小さな花が集まって筒状や円錐状など様々な形を作ります。花の見ごろは夏から冬頃のものが多く、種の付き方も独特で、花を終えた花序は木質化し、非常に硬い殻に覆われた実を付けます。この殻は山火事などで熱が加わると弾け、その後の降雨により必要な水分を得るとはじめて発芽します。この生態は、カリステモンなど他の植物でも見られ、山火事が珍しくない環境下で世代更新していくために適応したものといわれています。

【グレビレア】グレビレア(Grevillea)は、ヤマモガシ科の常緑樹です。低木の種類が多いようですが、中には匍匐性のものや高木になる種類もあります。花の形が特徴的で、成長すると複数のめしべが飛び出します。蜘蛛を連想させることから「スパイダーフラワー」の別名もあります。冬から春に花の見ごろを迎えるものがあります。

【カリステモン】カリステモン(Callistemon)は、フトモモ科の常緑樹です。特徴は、花序全体がピンを洗うブラシのように見えることです。このことからカリステモンの仲間には、ブラシノキ(Callistemon speciosus(Sims) Sweet)と呼ばれる種もあります。枝に昆虫が卵を付けたように見える果実には粉状の種子が入っており、山火事が起きると放出されます。5〜6月頃に花の見ごろを迎えるものがあります。

【ウォレミア・ノビリス】ウォレミア・ノビリス(Wollemia nobilis)は、ナンヨウスギ科の常緑樹で、植物園門の近くに展示しています。1994年にオーストラリアで発見されるまでは化石に記録があるだけでした。中生代ジュラ紀から生き残った種と考えられており、「生きた化石」と呼ばれています。また、恐竜がいた時代から生存する世界最古の希少種の一つであるため、ジュラシックツリーとも呼ばれています。当園には、姉妹都市のシドニー市から両市の友好のシンボルツリーとして2006年に贈られました。

今回紹介できなかったオージープランツも数多く展示していますので、その個性的な姿をお楽しみください。

<オーストラリアコーナーの植物>

(植物園長 岡本 誠)



バンクシア



グレビレア



カリステモン



# 植物管理人だより

## キシウテンガイの 開花報告

キシウテンガイという名の植物をご存じでしょうか。地面に張り付くように生えていますが実は樹木。葉は二枚のみ。葉が伸び続け、更に寿命は1000年以上と云われている正しく奇想天外な植物なのです。このキシウテンガイは2018年に東山動植物園に導入。2020年温室前館に移植。そして今年初開花しましたので報告します。

開花日は6月23日。3株展示しているうちの1株が開花しました。花の形から雄株と判明。残りの2株(未開花)に雌株が混ざっていることを期待してしまいます。

キシウテンガイの成長はゆっくりしてい

て花芽を確認した2月から開花するまで5カ月もかかりました。ゆっくり過ぎて咲く前に花芽が枯れるのではないかと、そもそも花芽じゃないのではと冷や冷や、ハラハラ落ち着かない日々でした。

なぜ冷や冷やだったのかと言いますと、実は、花芽は昨年までできており、途中で生育が止まり花芽が枯れるという結果で終わったからです。花が咲かなかった要因は肥料が途中で足りなくなったからではないかと考え、今年は肥料の間隔を短くするなど栽培方法を変更。無事開花した時は嬉しさよりも安堵の気持ちのほうが勝っていた気がします。



芽の動き確認



花芽らしくなる



やっと開花



花を拡大、黄色のもこもこした物は花粉

今現在花は終わり見ることは出来ませんが、“ぐねぐね”と伸び続ける葉も不思議さいっぱいです。展示場所は多肉植物室です。お待ちしております。

指導園芸係 大須賀 良子

## どんぐり広場の クリスマスツリー

皆さん、クリスマスといえばどんな植物を思い浮かべますか？

セイヨウヒイラギ、ポインセチアおよびクリスマスローズ…。

いくつかありますが、やっぱり1番はクリスマスツリーに使われるモミの木ですよね。

クリスマスツリーの起源は、諸説ありますが、ドイツのあるお祭りだとされています。

モミの木に飾りを付けて、その周りを人々が囲んで踊り、幸せを運ぶ小人(こびと)にいつまでも木にいてもらうというお祭りで、その小人からサンタクロースが生まれたとも言われています。

そんなクリスマスツリーに使われている

樹木はいくつかあって、実は当植物園にもあります。

ヨーロッパでクリスマスツリーといえばこの樹木のことで、クリスマスツリーの起源になったと言われています。(写真①)

日本でいわゆる「モミの木」と呼ばれる日本原産の樹木。(写真②)

ドイツウヒの「Picea abies」の「abies」と同じ部分があるため、日本人が勘違いをしてクリスマスツリーに使うようになったという説があります。

その他にも、北海道で主に生息するアカエゾマツ(Picea glehnii (F. Schmidt) Mast.)や葉の裏が白いウラジロモミ(Abies homolepis Siebold et Zucc.)な



①Picea abies (L.) Karst. ドイツウヒ



②Abies firma Siebold et Zucc. モミ

どがクリスマスツリーに使われます。紹介した樹木は、植物園「東海の森」近くのどんぐり広場で見ることができますので、ぜひ足を運び、生きているクリスマスツリーを見に来てくださいね。

緑地造園係 佐藤 春華

レッドリストとは、IUCN(国際自然保護連合)が刊行している、世界で絶滅の恐れがある野生生物種のリスト。各国の政府機関や地方自治体等で独自に作成している同様のリストもレッドリストと呼ばれる。日本の環境省レッドリスト2020において、1,790種(維管束植物)が絶滅の恐れのある種として掲載。

# ミカワバイケイソウ

分類：シュロソウ科

学名：*Veratrum stamineum* Maxim. var. *micranthum* Satake

分布：三重県、愛知県、静岡県、岐阜県の低い湿地



**VU**  
2020環境省  
レッドリスト

絶滅 (EX/EXTINCT)	絶滅が確認された
野生絶滅 (EW/EXTINCT IN THE WILD)	野生では絶滅した
絶滅危惧IA類 (CR/CRITICALLY ENDANGERED)	絶滅寸前の状態にある
絶滅危惧IB類 (EN/ENDANGERED)	近い将来絶滅する恐れが高い
絶滅危惧II類 (VU/VULNERABLE)	絶滅の恐れが高い

**ミ** カワバイケイソウはシュロソウ科シュロソウ属の多年草で、北海道から中部以北の山地、亜高山の湿地に分布するコバイケイソウの変種です。伊勢湾地域の固有で、コバイケイソウが中部山岳地帯から周伊勢湾地域に降りてきて、低い湿地に残存、特殊化したと考えられています。

**大** 型の多年生草本で、茎は高さ90~150cm、茎葉は互生し、基部につくものは鱗片状、中部以上につくものは10~14枚あって長楕円形~楕円形、長さ20~35cm、幅8~15cm、先は鋭形、基部は鞘になって茎を包み、裏面に短毛があります。

**花** 期は5月頃です。茎の先端に長さ20~40cmで2~9本の枝がある大きい円錐花序に多数の花をつけます。花は両性花と雄花があります。主軸上のは両性花で、側花序に雄花のことが多いのですが、両性花だけのこともあります。花被片は6個で、白色、長楕円形で長さ5~8mm、縁に歯牙状に切れ込みがありますが、ほとんど全縁のものもあります。雄しべは6本、黄色の葯が突き出て花被片より長くなります。

(植物園 野村 幸央)

## 中部のツバキ

令和3年に「中部のツバキ品種コレクション」がナショナルコレクションに認定されました!

### ・中部のツバキとは?

尾張を中心とした三河、伊勢、美濃などの中部地方は、古くから華道、茶道が盛んでツバキの改良もこの影響を強く受け、一重・早咲・筒咲などの形質を持つ品種が多数作出されました。このようなツバキの総称を中部のツバキ(中京椿)と呼んでいます。

### ・ナショナルコレクションとは?

「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的とした植物コレクションの認定、保全制度

東山動植物園の椿園には、たくさんのツバキが展示されています。  
中部のツバキ品種の中でも、晩秋から初冬にかけて開花する品種を数種類ですが紹介します。



ツバキ'紅妙蓮寺'



ツバキ'参平椿'



ツバキ'吾妻紋'



ツバキ'関戸太郎庵'



ツバキ'常満寺'



ツバキ'秋の月'



ツバキ'加茂川'



ツバキ'一子侘助'

ツバキは、晩秋から春まで長い期間楽しんでいただくことができます。  
お気に入りのツバキを見つけにぜひ椿園へ足を運んでみてください。

## 植物園花の見ごろカレンダー

植物園では、様々な植物を展示しており、花の咲く時期は植物の種類によって違います。主に種類ごとに展示している花の見ごろがいつなのか、昨年の花マップを参考に表にしてみました。植物園で展示している植物を基準にまとめています。例えば、桜の咲く時期は一般的にはソメイヨシノを基準に考えますが、当園では八重桜も多数展示していますので、4月下旬まで見頃は続きます。

植物は気象条件の影響を受けやすいので、あくまで目安になります。特定の植物の見ごろについては、当園のホームページ、SNS等を確認いただくか、直接お問い合わせください。

### 植物園内花の見ごろカレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
椿園				→								←
梅林		→										
桜の回廊			→	→								
シャクナゲの森				→								
バラ園					→	→				→		
アジサイ園						→	→					
湿地園								→	→	→		

### 冬に見られる温室の植物について



トウワタ

#### ○トウワタ (*Asclepias curassavica* L.)

キョウチクトウ科の多年草。寒さに弱いいため、日本では1年草として栽培されています。温室サンギャラリーでは、冬でも咲きます。種ができると綿毛が出るのが和名の由来です。



クレロデンドラム・クアドリロクラレ

#### ○クレロデンドラム・クアドリロクラレ (*Clerodendrum quadriloculare* (Blanco) Merr.) 別名「冬の花火」

枝先に集まって咲く姿が花火のように見えることから別名で呼ばれています。サンギャラリーで展示しています。



ジェードバイン

#### ○ジェードバイン (*Strongylodon macrobotrys* A.Gray) 花の色から和名は「ヒスイカズラ」です

ハワイアンハウス奥で展示しています。2月下旬くらいから咲き始め、春まで見られます。

# 東山動植物園への 遺贈寄付をお考えの お客さま

名古屋銀行では、東山動植物園に遺贈寄付を  
ご希望されるお客さまのご意向を実現させるため、  
きめ細かいサポートを行います。

## お客さまの想いをかたちに。

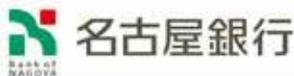
お客さまの多様化する相続関連ニーズに  
幅広くお応えします。

### 協定締結先への遺贈寄付について

遺贈寄付とは、個人が遺言書によって遺産の全部、または一部を  
特定の個人や団体などに寄付することをいいます。



遺言書があれば、法定相続人以外にも相続させることができます。



### Café North Garden カフェ ノース ガーデン



● 動物ソフト3種類  
¥380(税込) (¥387)(税込)



● コアラカレー  
¥800(税込) (¥815)(税込)

## 東山動植物園 \* 北園 \*

### shop North Garden ショップ ノース ガーデン



● レッサーパンダぬいぐるみ  
L ¥4,400(税込)  
S ¥1,840(税込)



● 生息地  
トートバッグ  
各¥1,100(税込)



● 黒紋メレーグマ  
Tシャツ  
¥4,200(税込)

※( )内はイトイン  
価格です。

## ひがしやま 62 号のクイズの答え

Q 秋の花と言えばコスモスがありますが  
コスモスの和名は?



- ① 春桜(はるざくら)
- ② 秋桜(あきざくら)
- ③ 冬桜(ふゆざくら)

A 正解は  
② 秋桜  
(あきざくら)  
でした。

裏表紙/シモバシラKeiskea japonica シモバシラはシソ科の多年草です。和名は、冬に気温が氷点下になると吸い上げられた水分が凍結し、割れた茎からしみ出して霜柱のように見えることに由来しています。(文/高島 枝里)

ひがしやま  
63号 2022 冬

発行所/公益財団法人 東山公園協会  
〒464-0803 名古屋市千種区田代町字瓶1-62  
TEL 052-782-2111(内線340)

協力/名古屋市東山総合公園  
発行日/令和4年12月23日



シモバシラ

Winter  
2022

H I G A S H I Y A M A

# ひがしやま 63

名古屋市東山動植物園情報誌